

令和2年度

病害虫発生予察特殊報(第2号)

令和2年6月30日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：*Dichromothrips corbetti* (Priesner)

作物名：コチョウラン

1 発生経過

令和2年2月、県内の施設で栽培しているコチョウランにアザミウマ類と思われる被害が出ているとの問い合わせがあった。現地を調査したところ、種不明のアザミウマが花卉や蕾を加害していることを確認した(図1,2)。寄生しているアザミウマ類を採取し、横浜植物防疫所に同定依頼した結果、日本未発生 of *Dichromothrips corbetti* (Priesner) と同定された。

なお、本種の発生を確認したコチョウランの苗は、輸入代理店を通して台湾から輸入したものであり、そこに潜んでいた本種が、成株へ生長する間に増殖したものと考えられる。発生を確認した施設では、防除対策に示した表に記載された異なる系統の薬剤によるローテーション防除を行ったことにより、現時点では、発生は確認されていない。

2 形態および生態

(1)形態

雌成虫は長翅型で、体長は1.4~1.6mmである。体色は暗褐色だが、脛節先端およびふ節は黄色、前翅は基部が淡色でほかは褐色である(図3,4)。単眼前方刺毛は1対、触角は8節、第3,4節は先端が首状に細長く伸長する。前胸背板後縁角は長刺毛を欠く。

雄成虫は短翅型で、体長は約1.1mmである。体色は腹部第3~6節が灰褐色、脛節及びふ節は黄色、他は暗褐色である。

(2)生態

ラン科植物にのみ寄生し、花及び葉で繁殖する。東南アジア原産であり、主に熱帯地方に生息するが、加温設備のある施設内では、他の地域でも生息が可能である。

3 被害および分布と寄主植物

(1)被害

吸汁により、花卉や蕾にカスリ症状や退色が認められ(図1)、商品価値を低下させる。

(2)分布と寄主植物

本種は日本未発生であり、インド、インドネシア、シンガポール、タイ、マレーシア、フィリピン、台湾、オーストラリア、フィジー、オランダ、スロベニア、ハンガリー、ベルギー、プエルトリコ、アメリカ等に分布している。

アランダ、アランテラ、デンドロビウム、モカラ、バンダ属等、ラン科の花と葉に寄生する。

4 防除対策

(1)神奈川県病害虫雑草防除指導指針(令和2年)で、花き類・観葉植物のアザミウマ類に適用のある防除薬剤の例を表に示した。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守すること。

表 防除薬剤例

IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍率
1B	オルトラン水和剤	発生初期	5 回以内	1,000～1,500 倍
4A	モスピラン顆粒水溶剤	発生初期	5 回以内	2,000 倍
4A	ダントツ水溶剤	発生初期	4 回以内	2,000～4,000 倍
5	ディアナ SC	発生初期	2 回以内	2,500～5,000 倍
6	アフーム乳剤	発生初期	5 回以内	2,000 倍
6	アグリメック	発生初期	5 回以内	500 倍
21A	ハチハチフロアブル	発生初期	4 回以内	1,000 倍

(2)施設栽培では開口部に防虫ネットを張り、施設外への分散や野外からの侵入を防ぐ。
また、残渣は野外に持ち出さない。

(写真)



図 1 コチョウラン花卉の被害状況

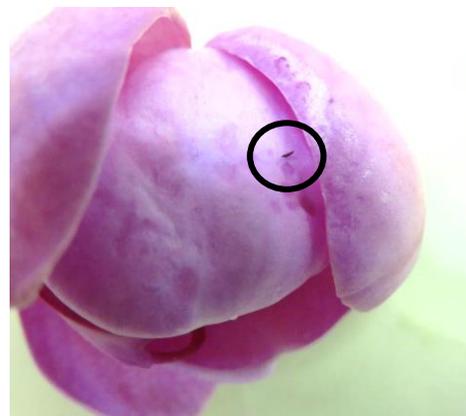


図 2 花卉に寄生するアザミウマ



図 3 *Dichromothrips corbetti* 雌成虫



図 4 *Dichromothrips corbetti*
雌成虫頭胸部拡大図



図 5 *Dichromothrips corbetti* 幼虫

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7cnt/f450002/>